

# 高松商工会議所

## 業種別業界景気動向調査結果

令和4年度 第3四半期（令和4年10月～12月期）調査

### 概要

1. 調査の目的 四半期ごとに調査を行い、短期的な景気動向を把握する。
2. 調査基準日 令和4年11月15日
3. 調査対象 当所管内の中小企業等より138社を抽出。
4. 回答企業数 133社（回答率96%）

業種別内訳	製造業	26社	建設業	20社
	卸売業	13社	小売業	37社
	サービス業	26社	その他	11社
規模別内訳	大企業	0社	中小企業	125社
	業界団体	8団体		

### \*期間表記について

「今 期」：令和4年10月から12月まで

「前年同期」：令和3年10月から12月まで

「前 期」：令和4年7月から9月まで

「来 期」：令和5年1月から3月まで

### \*D I 値（景気動向指数）について

D I 値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す指数である。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

I. 概況（全業種）〈今期（令和4年10月～12月）の概要〉

**景気判断DIは、全体でマイナス幅が縮小。**

**先行き見通しは、卸売業、サービス業で改善の傾向が見られるが、建設業では特に厳しい見方が続く。**

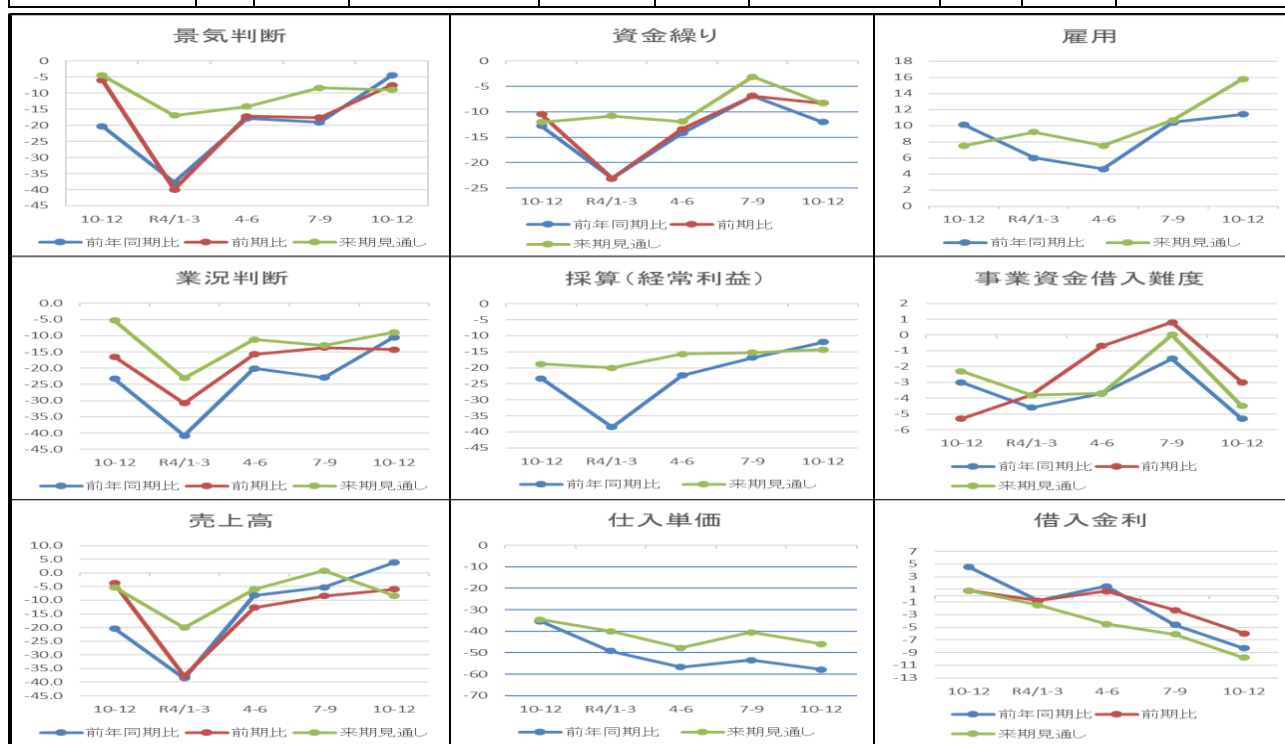
景気判断DIは、前年同期比で、マイナス幅が縮小。

前期比においても、マイナス幅が縮小。前年同期比ではサービス業が悪化したが、他の業種については改善した。

しかしながら、先行き見通しについては、全国旅行支援等による人出の増加によりサービス業、特に宿泊業で改善の傾向がみられるものの、原材料高による仕入価格の上昇や、生活関連用品の相次ぐ値上げにより、他の業種については悪化、全体ではマイナス幅が拡大した。

〈産業別の主な動き〉

項目	前年同期比DI			前期比DI			来期(先行)見通しDI		
	比較	DI	判断	比較	DI	判断	比較	DI	判断
景気判断	↑	▲ 4.5	マイナス幅縮小	↑	▲ 7.5	マイナス幅縮小	↓	▲ 9.0	マイナス幅拡大
業況判断	↑	▲ 10.5	マイナス幅縮小	↓	▲ 14.3	マイナス幅拡大	↑	▲ 9.0	マイナス幅縮小
売上高	↑	3.8	プラス値に転じる	↑	▲ 6.0	マイナス幅縮小	↓	▲ 8.3	マイナス値に転じる
資金繰り	↓	▲ 12.0	マイナス幅拡大	↓	▲ 8.3	マイナス幅拡大	↓	▲ 8.3	マイナス幅拡大
採算〔経常利益〕	↑	▲ 12.0	マイナス幅縮小	-	-	-	↑	▲ 14.3	マイナス幅縮小
仕入単価	↓	▲ 57.9	マイナス幅拡大	-	-	-	↓	▲ 45.9	マイナス幅拡大
雇用	↑	16.5	プラス幅拡大	-	-	-	↑	15.8	プラス幅拡大
事業資金借入難度	↓	▲ 5.3	マイナス幅拡大	↓	▲ 3.0	マイナス値に転じる	↓	▲ 4.5	マイナス値に転じる
借入金利	↓	▲ 8.3	マイナス幅拡大	↓	▲ 6.0	マイナス幅拡大	↓	▲ 9.8	マイナス幅拡大





【サービス業】

景気判断	業况判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↓	→

- ・第7波が収束しつつあるが、今までは波が収まると宴会・会議の予約が入ってきたが、今回、忘年会はじめ動きがにぶい。宿泊は、かがわ割等もあり、8月に引き続き堅調。(ホテル・旅館業)
- ・半導体不足による産業機器の仕入に関しては若干の改善傾向があるが、原材料高による価格転嫁で仕入れ価格の上昇が起こっている。自社としても価格転嫁できる部分は行っているが、見積り時点と購入時でも価格や納期が変わる場合もあり、今後も仕入れに関しては注視していく必要がある。(制御系ソフト・画像処理ソフト・RFID関連ソフト作成)

【その他の業】

景気判断	業况判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↘	↑

- ・アルバイト・パートの時間単価の大幅なアップによる採算悪化の見込。(倉庫業)

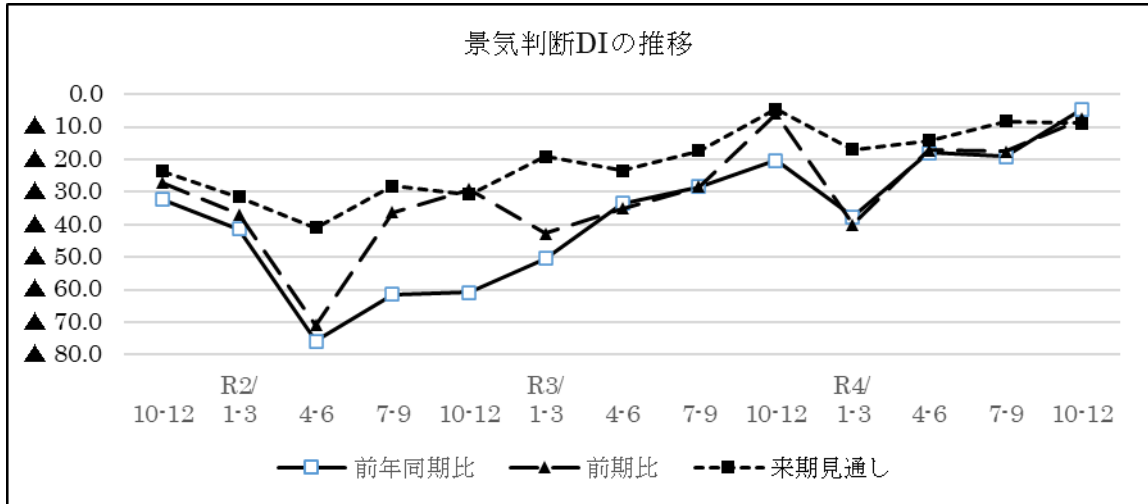
# 1. <管内景気動向>

**景気判断** 景気判断DI（「上昇した企業割合」－「下降した企業割合」の指数）

**前年同期比ベース**による全業種合計の景気判断DIは、▲4.5ポイント。前回調査（▲19.1）より14.6ポイントマイナス幅が縮小した。

**前期比ベース**による全業種合計の景気判断DIは、▲7.5ポイント。前回調査（▲17.6）より10.1ポイントマイナス幅が縮小した。

**来期（先行き）見通し**による全業種合計の景気判断DIは、▲9.0ポイント。前回調査（▲8.4）より0.6ポイントマイナス幅が拡大した。



		10-12	R2/1-3	4-6	7-9	10-12	R3/1-3	4-6	7-9	10-12	R4/1-3	4-6	7-9	10-12
全業種	前年同期比	▲32.4 ↓	▲41.4 ↓	▲75.9 ↑	▲61.5 ↑	▲60.8 ↑	▲50.4 ↑	▲33.6 ↑	▲28.3 ↑	▲20.3 ↓	▲37.7 ↑	▲17.9 ↓	▲19.1 ↑	▲4.5
	前期比	▲27.3 ↓	▲36.8 ↓	▲70.8 ↑	▲36.3 ↑	▲29.2 ↓	▲42.7 ↑	▲35.0 ↑	▲28.3 ↑	▲6.0 ↓	▲40.0 ↑	▲17.2 ↓	▲17.6 ↑	▲7.5
	来期見通し	▲23.7 ↓	▲31.6 ↓	▲40.9 ↑	▲28.1 ↓	▲30.8 ↑	▲19.1 ↓	▲23.4 ↑	▲17.4 ↑	▲4.5 ↓	▲16.9 ↑	▲14.2 ↑	▲8.4 ↓	▲9.0
製造業	前年同期比	▲44.4 ↑	▲40.7 ↓	▲74.1 ↑	▲59.3 ↓	▲80.8 ↑	▲66.7 ↑	▲33.3 ↑	▲11.1 ↓	▲15.4 ↓	▲20.0 ↑	▲15.4 ↓	▲28.0 ↑	▲3.8
	前期比	▲29.6 ↓	▲51.9 ↓	▲63.0 ↑	▲33.3 ↑	▲30.8 ↓	▲59.3 ↑	▲25.9 ↑	▲11.1 ↑	11.5 ↓	▲32.0 ↑	▲26.9 ↑	▲20.0 ↑	▲7.7
	来期見通し	▲33.3 ↑	▲29.6 →	▲29.6 ↑	▲18.5 ↓	▲26.9 ↓	▲29.6 ↑	▲14.8 ↑	18.5 ↓	▲7.7 ↑	▲4.0 ↓	▲15.4 ↓	▲16.0 ↓	▲19.2
建設業	前年同期比	▲15.0 ↓	▲35.0 ↓	▲60.0 ↑	▲52.4 ↑	▲47.4 →	▲47.4 ↓	▲57.1 ↑	▲38.1 ↑	▲28.6 ↓	▲45.0 ↑	▲42.9 ↓	▲50.0 ↑	▲20.0
	前期比	▲20.0 ↑	▲15.0 ↓	▲55.0 ↑	▲42.9 ↓	▲52.6 ↑	▲42.1 ↓	▲52.4 ↑	▲42.9 ↑	▲23.8 ↓	▲35.0 ↑	▲28.6 ↓	▲35.0 ↑	▲15.0
	来期見通し	▲25.0 ↓	▲30.0 ↓	▲65.0 ↑	▲42.9 ↓	▲47.4 ↑	▲31.6 ↓	▲57.1 ↑	▲33.3 ↑	▲28.6 ↓	▲35.0 ↓	▲42.9 ↑	▲15.0 ↓	▲30.0
卸売業	前年同期比	▲14.3 ↓	▲23.1 ↓	▲76.9 ↑	▲28.6 →	▲28.6 ↓	▲71.4 ↑	▲21.4 ↓	▲35.7 ↑	▲15.4 ↓	▲28.6 ↑	0.0 ↓	▲23.1 ↑	0.0
	前期比	▲21.4 ↑	▲15.4 ↓	▲69.2 ↑	▲28.6 →	▲28.6 ↓	▲35.7 ↑	▲14.3 ↓	▲28.6 ↑	0.0 ↓	▲21.4 ↑	▲7.1 ↓	▲15.4 ↓	▲23.1
	来期見通し	▲35.7 ↓	▲61.5 →	▲61.5 ↑	▲7.1 ↓	▲35.7 ↑	▲21.4 →	▲21.4 ↓	▲35.7 ↑	15.4 ↓	▲14.3 ↑	▲7.1 ↓	▲23.1 ↑	7.7
小売業	前年同期比	▲43.2 ↓	▲45.7 ↓	▲86.8 ↑	▲83.8 ↑	▲66.7 ↑	▲42.9 ↑	▲26.3 ↓	▲39.5 ↑	▲32.4 ↓	▲48.6 ↑	▲22.2 ↑	▲5.4 ↑	2.7
	前期比	▲40.5 ↓	▲42.9 ↓	▲84.2 ↑	▲45.9 ↑	▲30.6 ↓	▲37.1 ↓	▲39.5 →	▲39.5 ↑	▲21.6 ↓	▲57.1 ↑	▲22.2 ↑	▲8.1 →	▲8.1
	来期見通し	▲21.6 ↓	▲25.7 ↓	▲34.2 ↑	▲29.7 ↑	▲25.0 ↑	▲17.1 ↑	▲10.5 ↓	▲31.6 ↑	▲2.7 ↓	▲22.9 ↑	▲13.9 ↑	▲5.4 ↓	▲8.1
サービス業	前年同期比	▲31.0 ↓	▲44.4 ↓	▲71.4 ↑	▲50.0 ↓	▲53.8 ↑	▲36.0 ↑	▲29.6 ↑	▲22.2 ↑	▲7.7 ↓	▲32.0 ↑	▲14.8 ↑	0.0 ↓	▲7.7
	前期比	▲20.7 ↓	▲37.0 ↓	▲71.4 ↑	▲34.6 ↑	▲15.4 ↓	▲48.0 ↑	▲33.3 ↑	▲22.2 ↑	7.7 ↓	▲36.0 ↑	▲7.4 ↓	▲19.2 ↑	7.7
	来期見通し	▲13.8 ↓	▲33.3 ↓	▲46.4 ↑	▲42.3 ↑	▲23.1 ↑	▲16.0 ↓	▲33.3 ↑	▲14.8 ↑	7.7 ↓	0.0 →	0.0 ↑	3.8 ↑	7.7
その他の業	前年同期比	▲25.0 ↓	▲54.5 ↓	▲81.8 ↑	▲80.0 ↑	▲77.8 ↑	▲45.5 ↑	▲40.0 ↑	▲18.2 ↑	▲10.0 ↓	▲54.5 ↑	10.0 ↓	▲30.0 ↑	0.0
	前期比	▲16.7 ↓	▲45.5 ↓	▲72.7 ↑	▲10.0 ↓	▲11.1 ↓	▲18.2 ↓	▲40.0 ↑	▲18.2 ↑	0.0 ↓	▲45.5 ↑	10.0 ↓	▲10.0 ↑	▲9.1
	来期見通し	▲16.7 ↓	▲18.2 ↑	▲9.1 ↓	▲10.0 ↓	▲44.4 ↑	18.2 ↓	0.0 ↓	▲9.1 ↓	▲10.0 ↓	▲36.4 ↑	0.0 →	0.0 ↓	▲9.1

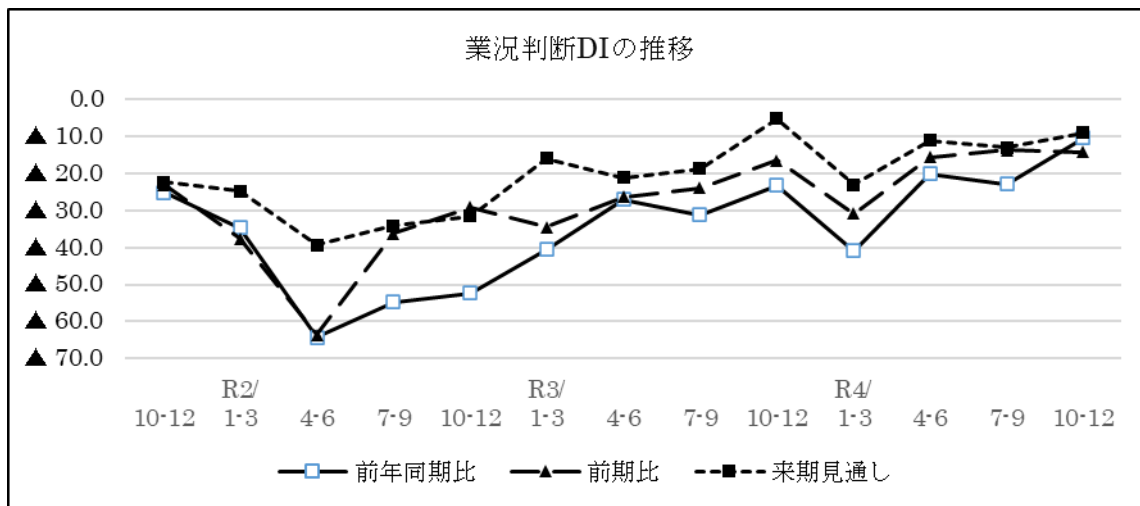
## 2. 〈企業経営動向〉

### (1) 業況判断 業況判断D I（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

**前年同期比ベース**による全業種合計の業況判断D Iは、▲10.5ポイント。前回調査（▲22.9）より12.4ポイントマイナス幅が縮小した。

**前期比ベース**による全業種合計の業況判断D Iは、▲14.3ポイント。前回調査（▲13.7）より0.6ポイントマイナス幅が拡大した。

**来期（先行き）見通し**による全業種合計の業況判断D Iは、▲9.0ポイント。前回調査（▲13.0）より4ポイントマイナス幅が縮小した。

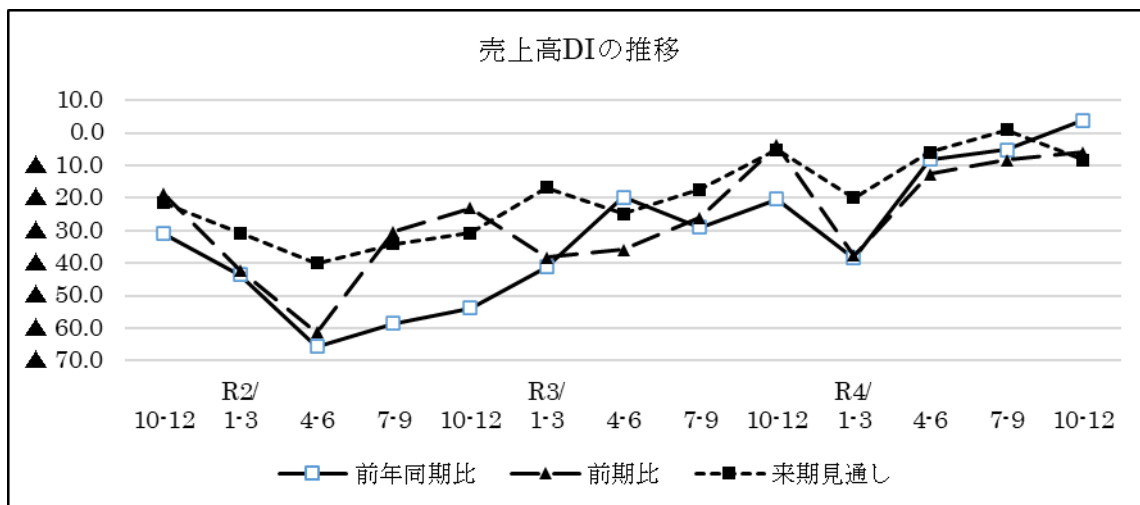


### (2) 売上高〔受注額〕 売上高D I（「増加した企業割合」－「減少した企業割合」の指数）

**前年同期比ベース**による全業種合計の売上高D Iは、3.8ポイント。前回調査（▲5.3）より9.1ポイントプラス値に転じた。

**前期比ベース**による全業種合計の売上高D Iは、▲6.0ポイント。前回調査（▲8.4）より2.4ポイントマイナス幅が縮小した。

**来期（先行き）見通し**による全業種合計の売上高D Iは、▲8.3ポイント。前回調査（0.8）より9.1ポイントマイナス値に転じた。

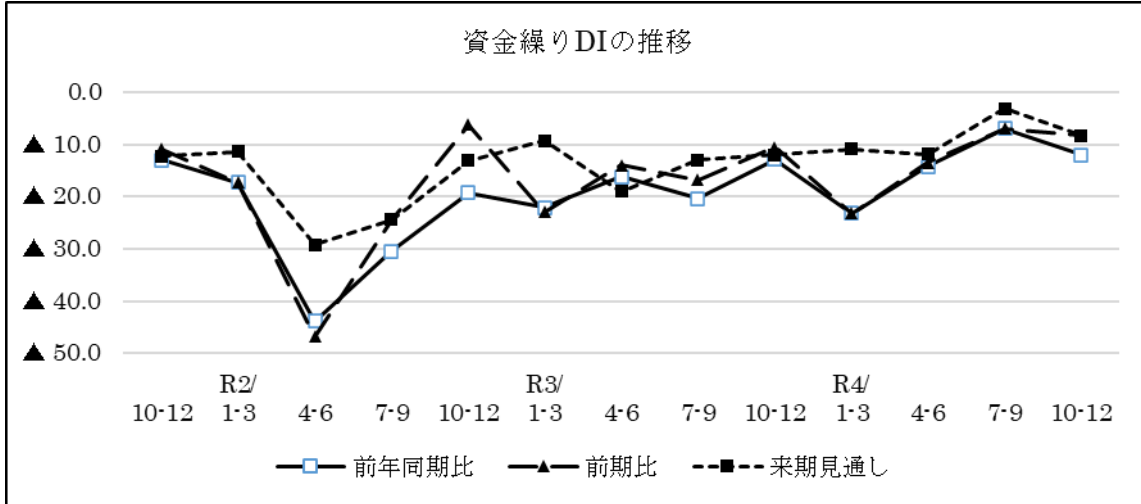


**(3) 資金繰り** 資金繰りDI（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

**前年同期比ベース**による全業種合計の資金繰りDIは、▲12.0ポイント。前回調査（▲6.9）より5.1ポイントマイナス幅が拡大した。

**前期比ベース**による全業種合計の資金繰りDIは、▲8.3ポイント。前回調査（▲6.9）より1.4ポイントマイナス幅が拡大した。

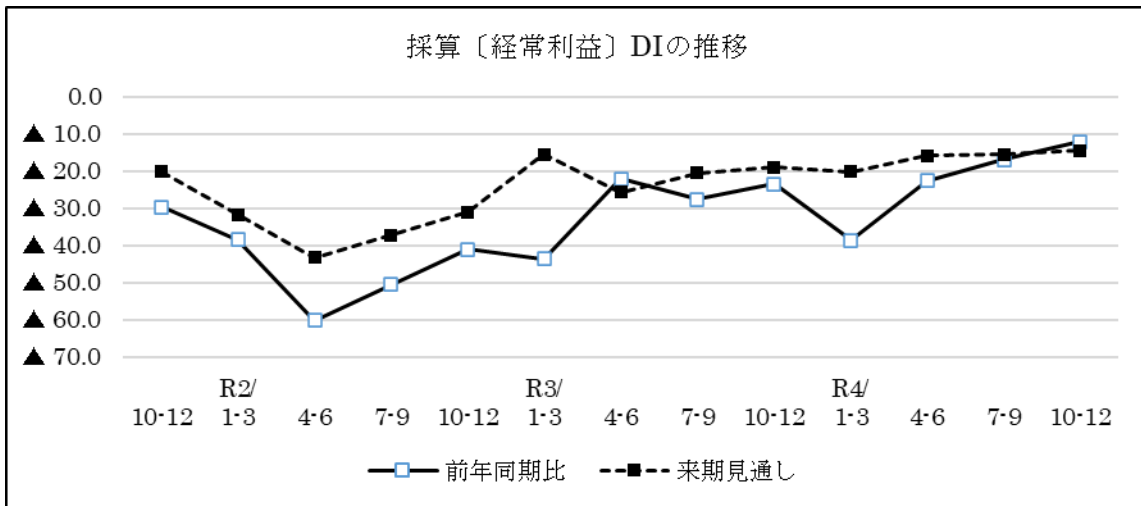
**来期（先行き）見通し**による全業種合計の資金繰りDIは、▲8.3ポイント。前回調査（▲3.1）より5.2ポイントマイナス幅が拡大した。



**(4) 採算〔経常利益〕** 採算DI（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

**前年同期比ベース**による全業種合計の採算DIは、▲12ポイント。前回調査（▲16.8）より4.8ポイントマイナス幅が縮小した。

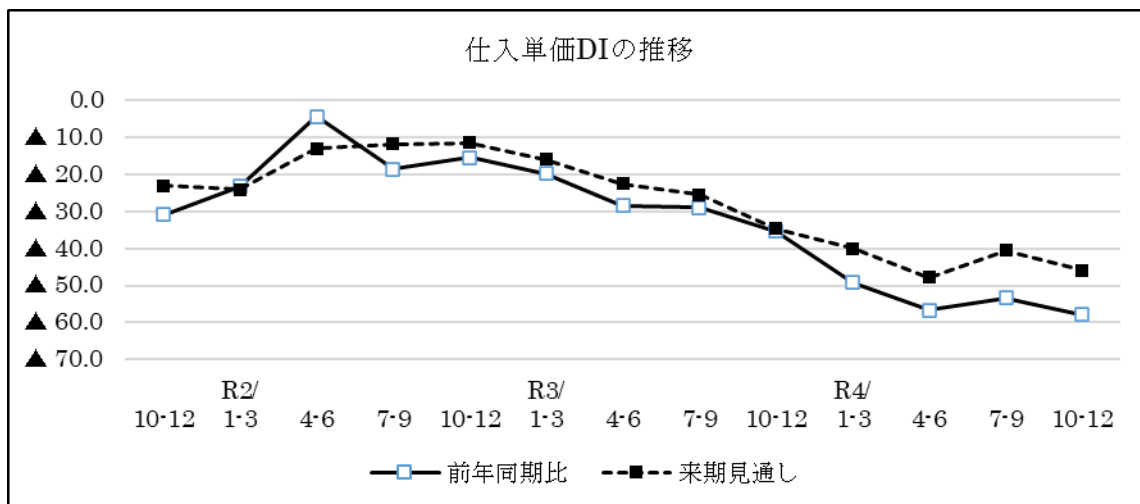
**来期（先行き）見通し**による全業種合計の採算DIは、▲14.3ポイント。前回調査（▲15.3）より1ポイントマイナス幅が縮小した。



(5) 仕入単価 仕入単価DI（「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数）

前年同期比ベースによる全業種合計の仕入単価DIは、▲57.9ポイント。前回調査（▲53.4）より4.5ポイントマイナス幅が拡大した。

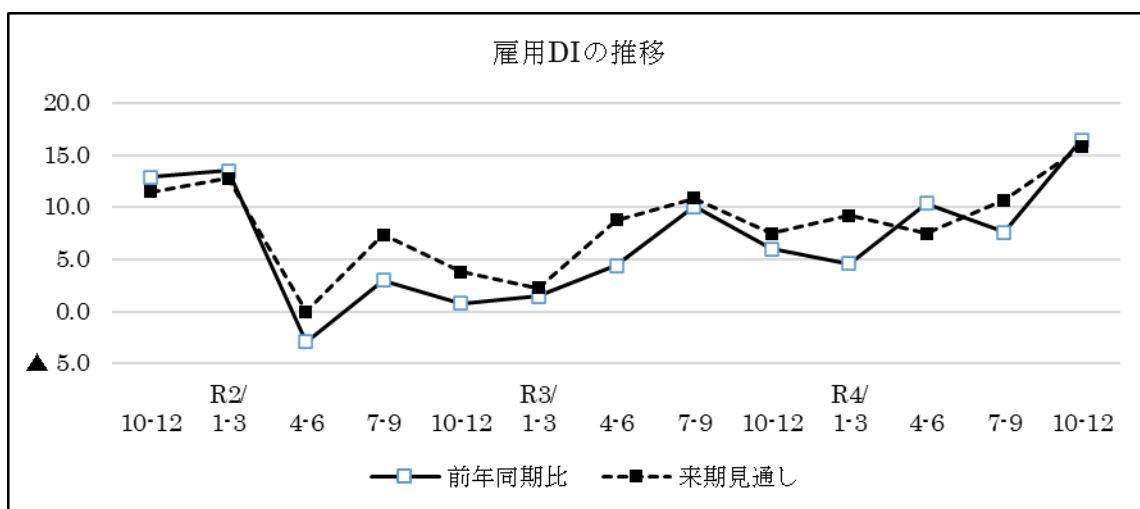
来期（先行き）見通しによる全業種合計の仕入単価DIは、▲45.9ポイント。前回調査（▲40.5）より5.4ポイントマイナス幅が拡大した。



(6) 雇用 雇用DI（「不足気味の企業割合」－「過剰気味の企業割合」の指数）

前年同期比ベースによる全業種合計の雇用DIは、16.5ポイント。前回調査（7.6）より8.9ポイントプラス幅が拡大した。

来期（先行き）見通しによる全業種合計の雇用DIは、15.8ポイント。前回調査（10.7）より5.1ポイントプラス幅が拡大した。



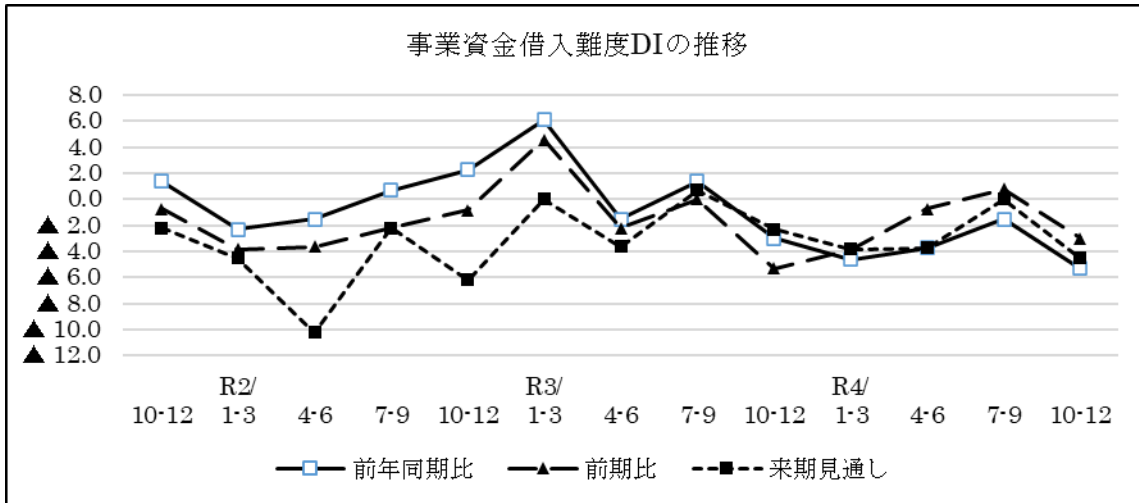


(7) **事業資金借入難度** 事業資金借入難度D I (「ゆるやかな企業割合」－「きびしい企業割合」の指数)

**前年同期ベース**による全業種合計の事業資金借入難度D Iは、▲5.3ポイント。前回調査(▲1.5)より3.8ポイントマイナス幅が拡大した。

**前期比ベース**による全業種合計の事業資金借入難度D Iは、▲3.0ポイント。前回調査(0.8)より3.8ポイントマイナス値に転じた。

**来期(先行き)見通し**による全業種合計事業資金借入難度D Iは、▲4.5ポイント。前回調査(0.0)より4.5ポイントマイナス値に転じた。

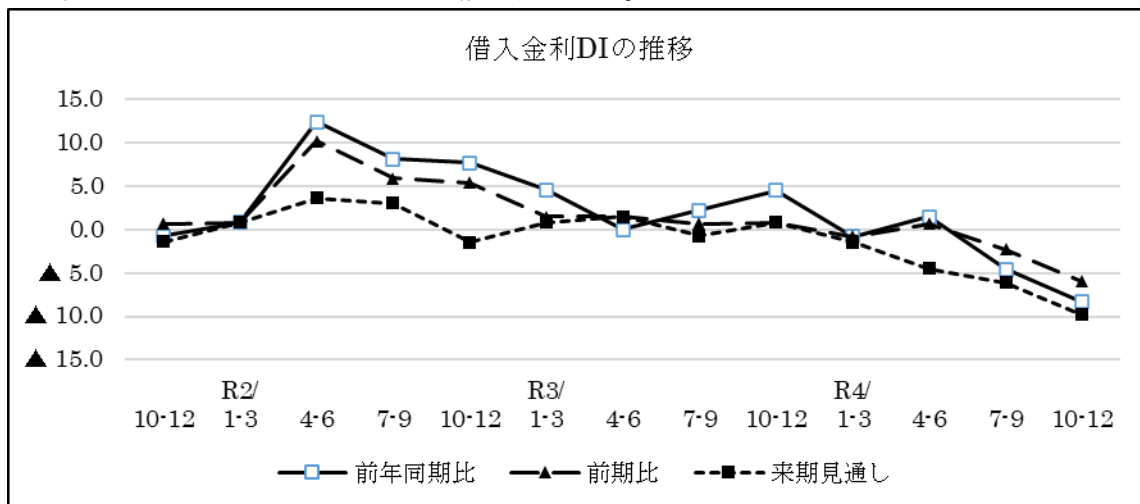


(8) **借入金利** 借入金利D I (「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数)

**前年同期ベース**による全業種合計の借入金利D Iは、▲8.3ポイント。前回調査(▲4.6)より3.7ポイントマイナス幅が拡大した。

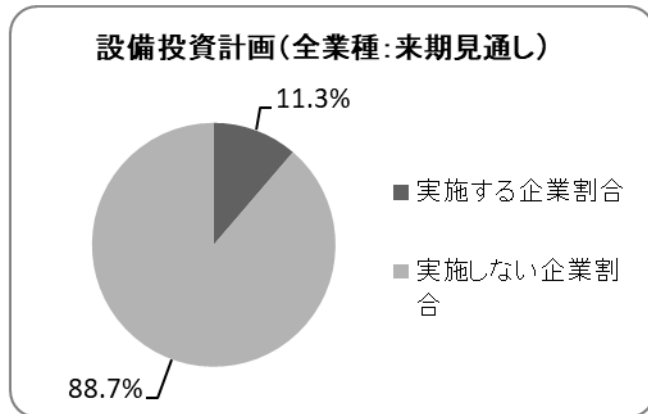
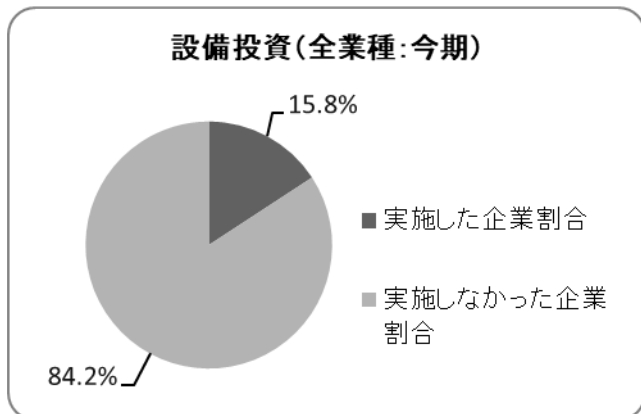
**前期比ベース**による全業種合計の借入金利D Iは、▲6.0ポイント。前回調査(▲2.3)より3.7ポイントマイナス幅が拡大した。

**来期(先行き)見通し**による全業種合計の借入金利D Iは、▲9.8ポイント。前回調査(▲6.1)より3.7ポイントマイナス幅が拡大した。



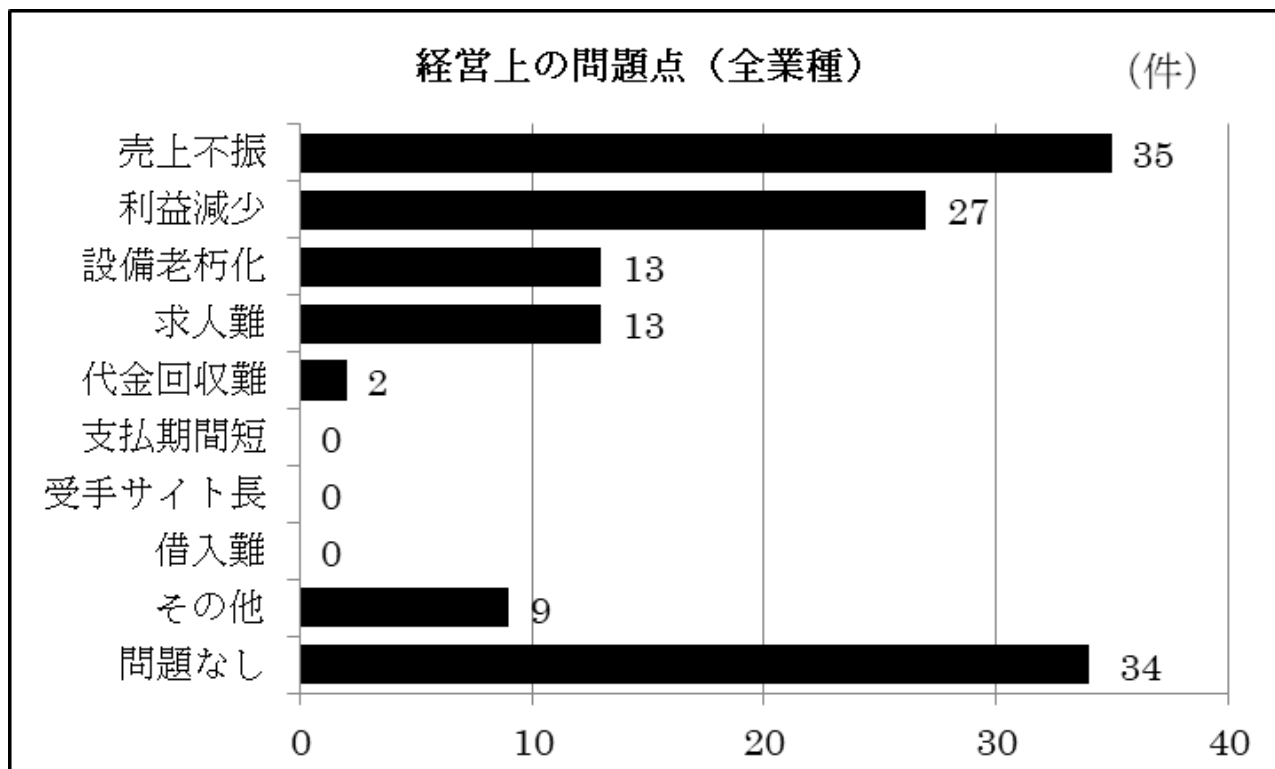
### (9) 設備投資

今期設備投資を実施したと回答した企業は15.8%となり、前回調査(17.6%)より1.8%下落した。また、来期設備投資を計画している企業は、11.3%となり、前回調査(13.0%)より1.7%下落した。



### 3. <経営上の問題点>

経営上の問題点として、最も多く挙げられているのは「売上不振」で35件、次いで、「問題なし」が34件となっている。



4. 当所管内業種別景況天気図（令和4年10月～12月期）

業種別	景気判断			業況判断			売上高			資金繰り			採算		
	R4 10月～12月期	R5 1月 3月期		R4 10月～12月期	R5 1月 3月期		R4 10月～12月期	R5 1月 3月期		R4 10月～12月期	R5 1月 3月期		R4 10月～12月期	R5 1月 3月期	
		前年 同月比	前期 比		見 通し	前年 同月比		前期 比	見 通し		前年 同月比	前期 比		見 通し	前年 同月比
	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し
全業種															
製造業															
建設業															
卸売業															
小売業															
サービス業															
その他の業															

凡例					
	DI値水準	>= +25.0	+24.9～+10.0	+9.9～-9.9	-10.0～-24.9

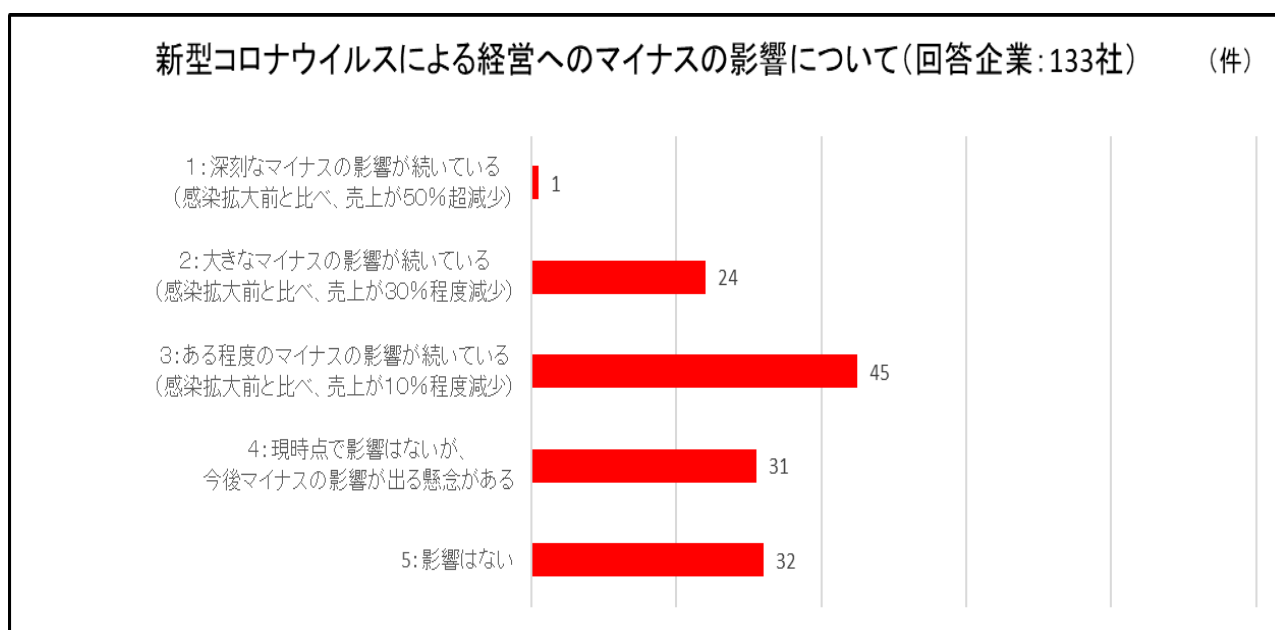
## <付帯調査>

新型コロナウイルスの感染拡大に関連して、以下の付帯調査を行った。

### (1) 新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について

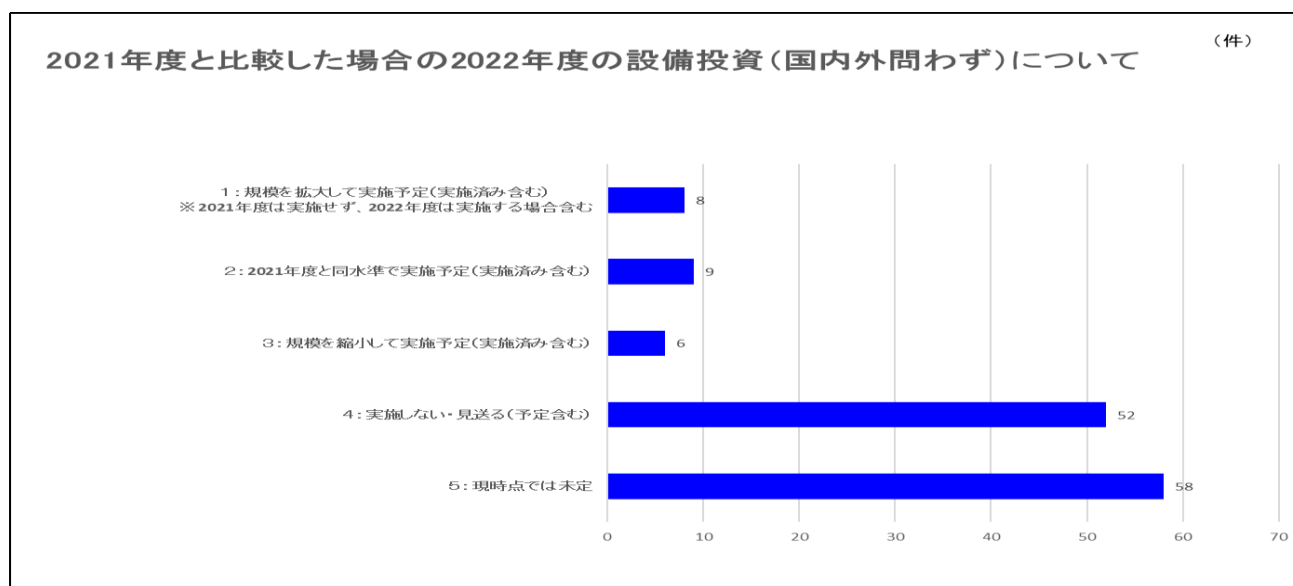
最も回答数が多かったものは、「ある程度のマイナスの影響が続いている（感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少）」で45社だった。次いで、「影響はない」が32社、「現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある」が31社、「大きなマイナスの影響が続いている（感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少）」が24社、「深刻なマイナスの影響が続いている（感染拡大前と比べ、売上が50%超減少）」が1社であった。

マイナスの影響が出ている、今後出る懸念があると回答したのは全体の75.9%であり、影響はないと回答したのは24.1%であった。



### (2) 2021年度と比較した場合の2022年度の設備投資(国内外問わず)について

最も回答数が多かったものは「現時点では未定」で58件だった。次いで、「実施しない・見送る」が52件、「2021年度と同水準で実施予定」が9件などであった。



### (3) 国内の設備投資につき、設備投資を行う目的について

回答数が多かったものは、「能力増強」が11件、次いで「省力化・合理化」が9件、「製品・サービスの品質向上」が9件、「省エネルギー対策」が8件、「IT投資・デジタル化対応」が6件、「新分野への進出」が4件などだった。

